

複眼

昨年は記録的猛暑で、トマトを含む農作物に深刻な高温障害が発生し、被害総額は約1億3,800万円にも及んだ。今年も6月下旬に史上最速で梅雨が明け、7月23日には北海道帯広市に40℃予想が出るなど、常態化する気象変動による農産物の被害は昨年を上回る可能性が出ている。

求められる優良種苗

第169回 品種見本市 温暖化や環境問題に対応

青果育種研究会(後藤正明会長)は近畿農政局から依頼を受けて協力という形で6月19日、滋賀県大津市の近畿農政局滋賀県拠点で「第169回品種見本市」を開いた。

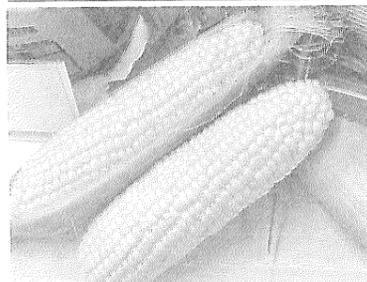


令和7年9月1日(月曜日) 第2537号



囲み座になって意見交換する参加者たち

機農業の推進を柱とする「みどりの食料システム戦略」が成立して5年。日本の農業の10%を有機農業に変えることをスロガンに掲げる神戸市のコープ有機なども参加、有機に対する需要は伸びている。



「サンエーシヨコライラ」(ヴィルモランみかど)



「タネなっぴー」(横浜植木)



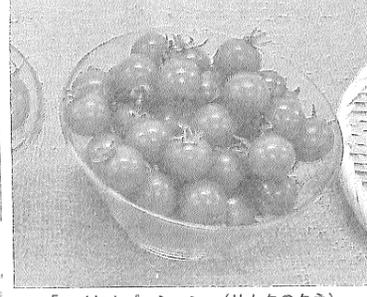
「ヘルシエ」(タキイ種苗)



「アポロン」(萩原農場)



「サクッとあまなご」(丸種)



「ロイヤルパッション」(サカタのタネ)



ベジプロセンター内での作業(福井シード)

サカタのタネも物流問題と絡めた品種提案として「ミニトマト」「ロイヤルパッション」を紹介。黄化葉緑体耐性で軟化や裂果に強く、極早熟。肥大や収量性も優れている。果肉は厚く割れも少ない。輸送中の品質劣化が少ないため日持ち性に優れている。